

# 松戸ロータリークラブ

【2010-11年度国際ロータリーテーマ】

地域を育み、大陸をつなぐ

Building Communities,  
Bridging Continents

[第2676回例会]

会 報

No.2675

2011年5月25日 発行

●四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

●THE 4-WAY TEST

Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?



地域を育み、大陸をつなぐ

本日のプログラム

2011年5月25日(水)

卓 話

「マスコミこそが諸悪の根源」

若林 正人様

次回のプログラム

2011年6月1日(水)

卓 話

「親睦活動について」

杉浦章浩 会員

- 例会日 毎週水曜 12:30~1:30
- 例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム  
TEL: 047-364-1111
- 事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F  
TEL: 047-366-2266  
FAX: 047-361-2255  
U R L : matsudo-rc.com  
E-mail : info@matsudo-rc.com

- 会 長 伊原 清良
- 会長エクト 常盤 映彦
- 副 会 長 加藤 栄
- 幹 事 松田 茂一
- 会 計 加瀬 仁
- 会報委員 松本 幸夫 申 澈権 太田原慎一
- 山田 達郎 澤田 正宏 土肥伸一郎
- 加瀬 仁 車田 善教 浅井 利明
- 三国 大吾

会長エレクト 常盤 映彦 会員



2011 - 2012年度国際ロータリー・クラブ、カルヤン・パネルジー会長は年度のテーマ、自分自身の見つめなおすこと、すなわち「こころの中を見つめよう博愛を広げるために」のテーマ実践していただきたいと述べています。

自分の心が平和であれば、家族が...地域が...世界が平和になる。

強調事項として

- 1、家族
- 2、継続
- 3、変化

を挙げています。

三月の東北大震災による津波、原子力発電所の事故によりたくさんの人々が被災され、甚大な被害を「いまも受けて」おられます。

このことに対して今上陛下は、お言葉の中で「被災地に長く心を寄せていきたい」とおっしゃっておられます。

松戸ロータリー・クラブは、今年度、天和ロータリー・クラブよりの義捐金を松戸市に支援金として、会員よりの義捐金をガバナー会に送っておりますが、是により十分支援をしたとは言えません。今回の震災の被災者に「長く心を寄せること」が奉仕の理想を掲げるロータリー・クラブの使命であり、2011 - 2012年度も引き続き支援を続ける

こととしたいと考えております。

戦後の風潮として、人間中心、自己中心的な考え、損当勘定の世界観と申しますかが、当然の世の中になりました。

御存知かもしれませんが、震災直後のコマーシャル自粛期に放送されました、「遊ぼう」という遊ぼうという」という「こだまでしょうか」という詩を書いた金子みすゞという方の詩に「蜂と神様」があります。

蜂はお花のなかに、花はお庭のなかに

お庭は土塀のなかに、土塀は町のなかに

町は日本のなかに、日本は世界のなかに

世界は神様のなかに。

そうして、そうして、神様は、小ぢやかな蜂のなかに。

というものであります。

この詩は日本人の自然観、世界観をあらわしたもので、森羅万象に神が宿るとして大切に生活してきたことを示す詩です。

次年度のテーマ「心の中を見つめよう...」ですが、震災を機に改めて自分自身を見つめなおす年度となりますよう役員一同と努力いたします。

山田ガバナーエレクトは、地区方針に「より強力な 魅力あるクラブに」。また、それに資するために長期計画の立案を求めておられます。

当クラブとしては、伝統的に単年度主義を基本としてまいりましたし、長期のテーマとして「青少年育成に貢献し続ける」がございまして、次年度も新たな立案は行わずにそれを踏襲していくことにいたします。

地区の10項目の重点目標を

- 1、五大奉仕部門への理解と実践
- 2、10%の会員増強
- 3、会員研修の充実
- 4、クラブ例会の充実
- 5、職業奉仕の重要性の再確認
- 6、社会奉仕部門での新規事業の立ち上げの検討と実践
- 7、国際奉仕活動への関心と実践
- 8、新世代の健全な育成

9、ロータリー財団と米山記念奨学会への理解と協力

10、RI国際大会参加の推進

を挙げておられます。この事についてもご協力をお願いします。又、個別の委員会活動については活動計画書によります。

親睦も大きな目的ですので、一年間楽しいクラブとするよう努力してまいりますので、ご支援をお願いいたします。

第2675回例会

## 例 会 報 告

2011年5月18日

### 会 長 換 拶



伊原清良 会長

松戸東ロータリークラブの渡辺剛様、ようこそお越し下さいました。ごゆっくりお過ごし下さい。『週間ゴルフダ

イジェスト』に小林孝数会員が掲載されました。龍ヶ崎カントリー倶楽部の理事仲間の『不老会』という四人の仲間が紹介されています。小林孝数さんは最近、アプローチとパターが職人芸と言える冴えを見せていると紹介されています。過日、私のホームコースの紫カントリーすみれコースの入会審査を検討する場面では小林会員から貴重なアドバイスを頂きました。紙面を借りてお礼申し上げます。

そういえばある人を松戸ロータリークラブに入会してもらおうと思っていたところ、個人的にやめにしておくこととしました。何故かゴルフが笑っちゃう程にずるいのであります。『ゴルフをもって人を見ん。』であります。昨日も90名程のゴ

ルフコンペがあり、申澈権さんからニギリを頂戴しました。毎度。そしてずるくない仲間4人と松戸駅前の新角ビルの地下、割烹・大黒で楽しく飲んで会計をしようとしたところ、松戸クラブのメンバーが2名いらっしゃいました。K銀行のK支店長さんとM駅のH駅長さん。どちらの会員にも必死で手をふっても気がつかれず。しょんぼり...

本日は、「次年度体制に向けて」ということで、常盤映彦エレクトから卓話をお聞きします。昔「あの人は、別格官幣大社だよ。」と言われ意味が判らずに父に聞きました。「靖国神社とかだよ。」と言われた記憶があります。先程、常盤会員から、官幣の‘幣’の意味を聞きました。‘貢もの’だそうであります。神社には出雲大社、伊勢神宮、明治神宮などと色々ありますが、神宮とは伊勢神宮だけをさすのだそうであります。松戸神社は三笠宮様が高野槇を境内にお手植えになっています。

大震災の各地の避難所で、天皇陛下と皇后陛下が優しいお言葉をお掛けになられているご様子が心に染みてきます。目線を合わせるため膝をつき、時には正座もされる。現地に警備などの負担を掛

# 幹 事 報 告

松田茂一 幹事



1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内  
本日例会終了後クラブ協議会があります。

2. 外部からの会議・連絡事項等の案内  
特にございませぬ。

3. 他クラブ会報・その他  
会報が銚子RCより届いています。

4. 例会変更の連絡  
特にございませぬ。

5. その他報告  
生活習慣病セミナーin松戸の開催  
講師 島村医学博士

けないために宿泊はされない。ガレキの山に向かわれ、雨がふっていても傘を閉じてお辞儀をされている。皇居で計画停電の時間帯には電気を消され口ウソクで過ごされたという。国民と心を共にすると新聞の見出しにありました。尊敬できて真心の触れ合いがあるからこそ国民も頑張れる。

松戸神社は常盤さんが来てから随分と立派になった。しっかりと運営されている。平成14年2月、杉浦会員がカバナー補佐の時にインターシティ・ミーティングを開催した。会場は松戸競輪場のロイヤルルーム。リーダーは大矢惣一郎パストガバナー。その時のテーマが『今なぜロータリー？今こそロータリー！』でした。主旨は、《21世紀を迎え、輝かしいはずだった新世紀が、同時多発テロ、アフガン戦争、炭疽菌に加え、大不況、狂牛病、幼児虐待など、国際情勢も日本人の心も不安極まりない状況であります。このような時代こそ、私たちロータリアンがどのように考え、どのように行動すべきかを問われているものと思われまます。信じられる人、安心できる人、おもいやりのある人、優しい人、そしていかに強く生きべきかを模索していただきます。》とありました。当時のバズセッションの最後の発表者が、仏教界から松戸西ロータリークラブの臼倉先生が。キリスト教界から松戸中央ロータリークラブの石井先生が。神道界からは松戸ロータリークラブの常盤宮司が代表選手となりました。当たり前のことですが宗教家は魂とか心を大切にしていると思われたからであります。

『ロータリーは、人間の魂のあり方の問題である』とも言われているように、ロータリーは本来、心の問題を重視する優れた精神的な活動であります。二宮尊徳翁が、『田畑を耕す前に先ず心の田畑を耕せ』といったように、ロータリアンは、諸々の実践活動をする前に、先ず、自らの心を洗って己の足らざるところを他のロータリアンに学ぶ姿勢を持つことが必要であるといわれています。

## 生活習慣病セミナーin松戸

### 1 セミナー主旨

今や日本人は生活習慣病の時代に突入し、特に3人に1人の死亡者と書われているがんは、地域市民の重大な関心事になっております。

今回、松戸市民のがん撲滅啓蒙活動の一環として、また健康で幸せな生活習慣を指して、市民健康セミナーを開催します。

特に喫煙病、「原発事故とがん予防について考える」についてのお話もご紹介します。

### 2 講師

第1講 島村トータル・ケア・クリニック院長 医学博士 島村善行先生  
『免疫力を高めるトータルケアで、がんの体質改善を！』  
～原発事故とがん予防について考える～

第2講 千葉セントマールゲレット病院 総合医療部長 医学博士 酒向猛先生  
『腸をきれいにして腸管免疫により、がん体質改善を！』

### 3 セミナー開催日・会場

①開催日：2011年6月9日(木)13時～15時30分  
②会場：松戸商工会議所 中会議室

### 4 開催団体

主催 一般社団法人 日本がんマネジメント協会  
共催 松戸ロータリークラブ  
松戸市医師会  
千葉県東葛地区 生と死を考える会  
NPO生活習慣病と予防医学を考える会・玄米おむすびの会  
後援 松戸市(保健福祉課)  
松戸商工会議所

### 5 セミナー参加費用1000円 (当日会場受付でお支払いいただけます)

お問合せ  
NPO生活習慣病と予防医学を考える会  
03-5322-7077

### 6 会場へのアクセス

松戸駅前より徒歩の分程度  
駐車場に限りがありますので、  
出来るだけ公共の交通機関をご利用ください



## 委員会報告

### ロータリー情報委員会

中山 政明 委員長



情報委員長の名簿を見ると、過去会長を務めた人がずらっと並んでいます。

その理由は、会長になって初めてロータリーに対する認識が深まるのが現実で、く

しくも、常盤さんが会長になって勉強できる機会をいただいたとおっしゃいましたが、なかなかその場になってみないと認識が深まらないということです。

何でもそうですが、国会議員でもそうですが、その役が人を作っていくとよく言われます。支店長が人を作る。なる前と後では全然人間が変わってくるというのが事実ではないでしょうか。

ロータリーの経営者としても、ロータリーの会長を経験し、職業奉仕とはクラブ奉仕とは国際奉仕とは何だと勉強した結果がその人自身が成長できますし、まわりから見る目も尊敬の念をいっぺんにではありませんが、徐々に積み上げていけるのが事実ではないかと思えます。

ですからそれを紐解いていきますと各委員長をうけるということは、その委員に介してる知識をそれなりに積み上げていけるのではないかと感じています。

新しく委員を任命されてはじめてこの委員会に所属したということは、その委員会の知識は充分にそなえられるし、専門知識も徐々に積みかさねていかれるのだと思えます。

その中で副委員、委員といるわけですが、その委員に所属したことにより、委員長よりは知識度は薄いかもしれませんが、その部分については理

解できるようになってくるのが、ロートルクラブではないが、ロータリークラブの所以ではないかと思えます。

与えられたその年の役目は断れないと言うのがロータリアンの考え方として認識して欲しいのです。

どんなに年をとっても何々委員長をやりなさいと言われたらその時の会長の言う通り委員長を受け、委員配属ももちろん、受けていくのが原則だと思います。

ロータリーに所属しているという意味はそう言うことであって、ロータリーに所属しているということは断れない・断らない人間の集まり。断るということは、それだけの容量がないと認識されても仕方ないことです。

よく他のクラブの噂では、あいつの下では働けないというロータリアンもたまに見かけます。それはロータリアンの風上にもおけないという認識が必要です。

あの人の下とかあいつとは気が合わないとかあいつとは懐具合が違うとかそういう価値判断であいつとはやれないというのはロータリアンではないと認識をもっていなければありがたい。

もちろんクラブの地区にいったという委員長もそう。地区委員にいったとかガバナーになったからとか地味的にはそれだけの広い知識を吸収できる立場になったのですが、それだからと言って元のクラブに戻ったから偉いというわけではけっしてないと思えます。

このような経験があるからおれはロータリアンとしては人格的にも偉いと思ったら大間違いという認識もあって欲しいと思えます。

地区もすべてスクラッチという考えをロータリークラブはもたないといけないと思えます。

人格として認め合うということはすべてがスクラッチであるという団体であるということを知って頂くことがこのロータリークラブに所属して

楽しくなる部分ではないかと思えます。

たくさんの委員長を経験したり、地区にいたりして経験豊富だから偉いというわけではなく、あの人はこれだけの寄付・金額を寄付しているから偉いというわけではない組織ということを知っているクラブは、楽しいクラブになるのでは。そういう意識がなくそれだけの価値観だけで人を判断するのは非常に危険なクラブである。

そういう意味での広い知識と寛容・忍耐ということをいつも会長もロータリー R I の会長もすべてそう言う認識をもった人が頂点にいます。

そういう意味でも頂点にいる人の知識の深さを勉強させて頂けるのも毎月会報の中に発表しているのでそういうものを読むことによって、自分に不足しているものも補足できるのがロータリーかなと思います。

いろいろ人間なので好き嫌いがあると思いますが、広い心、寛容で人を理解することは大事だと思います。

これは年齢の差すべての差がない、スクラッチだという認識のもとに協力しあって楽しいロータリアンとしてクラブ生活をしていただけたというのがロータリアンじゃないかとそんな気がしています。

そういう意味で年数が少ないから先輩にこびなければという認識はすべて捨てていただきたい。そんな気がします。

お互いに勉強する立場、自己修練の立場であるという謙虚な気持ちをたえずもって80・90まで所属していかれるのがいいクラブではないかとそんな気がしています。

すこしお説教じみたお話になってしまいましたが、ロータリアンとして一つの情報としてお話しさせていただきました。



## 例 会 報 告



伊原 会長



杉浦(裕) 会員

### [出席報告]

会員52名	義務会員43名	免除会員 9名
出席43名	義務会員37名	免除会員 6名
仮欠 9名	義務会員 6名	免除会員 3名

### [欠席者]

島村 善行君	大川 吉美君	松葉 則明君
川並 芳純君	湯本 高之君	中田智次郎君

### [M U]

柳澤 正敏君	松戸東 R C	5月13日
土屋 亮平君	豊田三好 R C	5月11日
草野 進君	松戸北 R C	5月17日
安井 克一君	第4回ガバナー補佐会議	5月15日

本日出席率 87.76%

### [お客様]

渡辺 剛様 松戸東 R C

## ニコニコBOX

田原晨暁君 / 12日の十日会で2年ぶりの39を出しましてうれしかったです。ありがとうございます。  
合掌

ニコニコBOX	当日 ¥ 10,000	累計 ¥ 1,138,000
財 団BOX	当日 ¥ 5,056	累計 ¥ 149,836

文責 / 車田